

道路占用の手引

(工事用施設編)

令和8年4月

名古屋市緑政土木局路政部道路管理課編

目 次

| | |
|--------------|----|
| 1. 申請通則 | 1 |
| 2. 許可基準のあらまし | |
| (1) 仮囲・足場 | 2 |
| (2) 保護棚 | 3 |
| (3) 乗入れ | 4 |
| (4) その他 | 5 |
| 3. 添付図書一覧表 | 6 |
| 4. 申請図書作成要領 | |
| (1) 申請書 | |
| ① 新規申請 | 7 |
| ② 更新・変更申請 | 9 |
| ③ その他 | 11 |
| (2) 添付図書 | |
| ① 工事仕様書 | 14 |
| ② 付近見取図 | 16 |
| ③ 全体平面図 | 17 |
| ④ 立面図 | 19 |
| ⑤ 構造図 | 23 |
| ⑥ 求積図 | 29 |
| ⑦ 掘削図 | 30 |
| ⑧ その他 | 31 |
| 5. 許可後の手続 | 32 |

1. 申請通則

(1) 申請者

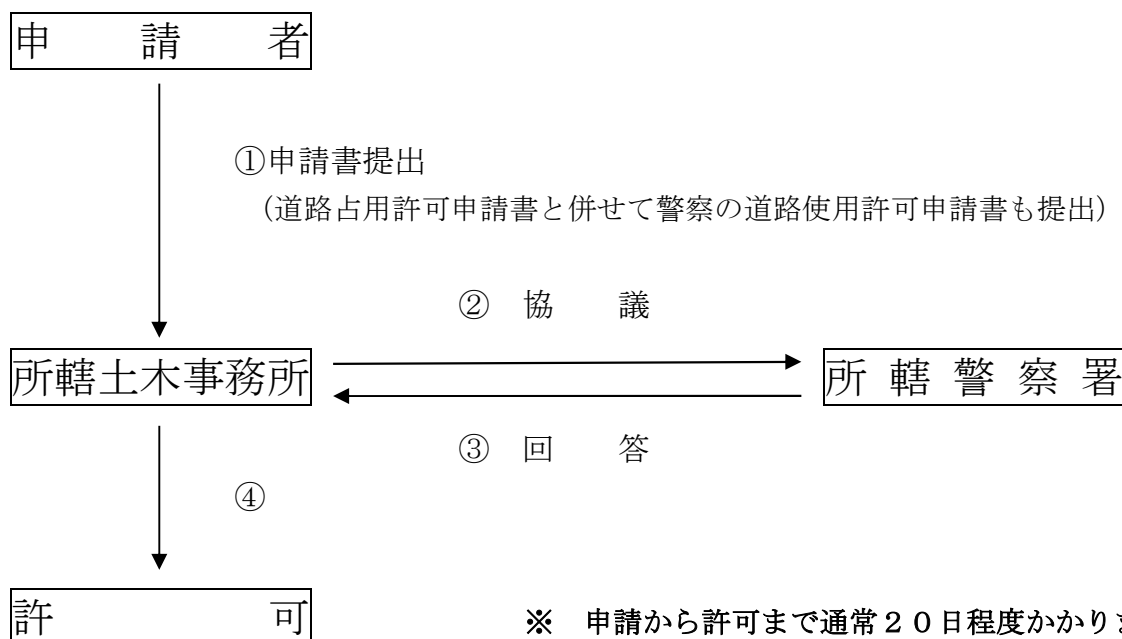
申請者は、施工業者としてください。

(2) 提出書類

道路占用許可申請書 1部
添付図書 1部 (6ページ参照)

(3) 提出先 所轄土木事務所

(4) 申請から許可までのフローチャート



※ 申請から許可まで通常20日程度かかります。

(5) 道路占用料

占用面積1平方メートルにつき、1か月あたり

| | |
|-------|--------|
| 仮囲・足場 | 1,100円 |
| 保護柵 | 550円 |
| 乗入れ | 550円 |

※令和8年4月1日～適用

※ 占用料は、「道路の占用料等に関する条例」の改正により変更することがあります。

2. 許可基準のあらまし

(1) 仮囲・足場

道路上に、足場を設置する場合は、仮囲が必要です。

- ① 出幅は、道路境界から2メートル以内で、必要最小限とする。
ただし、歩行者又は車両の通行のため、次の有効幅員を確保すること。
- ・歩道に設置する場合 1.5メートル以上(特段の事情によりやむを得ない場合は、0.75メートル以上)
 - ・車道に設置する場合 3.5メートル以上(特段の事情によりやむを得ない場合は、3メートル以上)
- ② 仮囲の高さは、道路面から3メートル以上とする。
ただし、次の場合には1.8メートル以上の仮囲を用いることができる。
- ・2階建以下の建物の建築工事(新・増・改築・解体)
 - ・3階建以下の建物の補修工事
 - ・建物の壁面塗装など(3階建以下の場合は仮囲を省略し、シート養生のみとすることができる。)
 - ・外構・擁壁工事など(工事施工上やむを得ない場合は、つい立てフェンスを用いることができる。この場合は、夜間照明施設(スズラン灯)を設けること。)

(仮囲高さ一覧)

| 工事内容 \ 建物階数 | 2階以下 | 3階 | 4階以上 |
|-------------|--------|------|--------|
| 建築工事 | 1.8m以上 | 3m以上 | |
| 補修工事 | 1.8m以上 | | 3m以上 |
| 壁面塗装など | — | | 1.8m以上 |

- ③ 仮囲などの支柱は、道路に埋め込まない。

(2) 保 護 棚

工事をを行う部分が道路面から 10 メートル以上の高さになる場合は、保護棚の設置が必要です。

- ① 出幅は、足場から 2 メートル以上とする。
- ② 保護棚（1 段目）を足場に取り付ける位置は、道路面から、歩道の場合は 3 メートル以上、車道の場合は 5 メートル以上とする。
ただし、いずれの場合も道路面から 10 メートル以内とする。
- ③ 保護棚の設置段数は、工事をを行う部分の高さが道路面から 10 メートル以上の場合は 1 段以上、20 メートル以上の場合は 2 段以上とする。

※ 足場が道路に出ず、工事敷地内に納まる場合であっても、その設置位置が道路境界から 2 メートル未満のときは、基準どおり保護棚を設置すること。

※ 壁面の塗装などで、落下物が予想されない場合については、保護棚の設置を省略することができる。また、壁面の塗装で、落下物が塗料のみと予想される場合については、保護棚の足場からの出幅を 2 メートル未満とすることができる。この場合、保護棚の設置段数は工事をを行う部分の高さに関わらず 1 段以上とすることができる。

- ④ 足場の前面だけでなく、側面にも設置する。
なお、足場の側面に保護棚を設置できない場合は、これに代わる落下物防止措置を行うこと。

※ 保護棚が隣地前面の道路上空に及ぶ場合は、隣地所有者の承諾書の写しを提出すること。

※ 足場の側面に保護棚を設置できない場合は、工事仕様書備考欄に、その理由を記載すること。

(3) 乗 入 れ

工事用の車両を工事敷地内へ乗入れる場合は、歩道などの補強又は防護措置が必要です。

① 道路の交差部、曲がり角などをできる限り避け、交通の支障とならない所に設置する。

② 乗入れ幅は、原則として6メートル以内で、必要最小限とする。

※ 使用車両などの都合で、やむを得ず6メートルを超える場合は、車両回転軌跡図を提出すること。

③ 歩道については、セメントコンクリート舗装(厚さ20～25センチメートル)をすること。

ただし、占用期間が6か月以内の場合については、鉄板敷(厚さ15～25ミリメートル)とすることができる。

※ 歩道がカラー舗装の場合は、土木事務所の指示する防護措置をすること。

④ 側溝については、原則として鉄板敷とする。

⑤ 鉄板は、がたつきのないよう敷地内においてボルトなどで固定するとともに、道路路面との段差を少なくするため、すりつけをする。

⑥ 出入口部分には、黄色回転灯を設置する。

⑦ その他

乗入れ先の土地(工事用資材置場など)が借地の場合は、土地所有者の承諾書又は借地契約書の写しを提出すること。

(4) その他

オーバブリッジ

工事敷地内に受電設備などを設置できる余地が全くなく、また、借地もできない場合に限り、オーバブリッジを歩道に設置することができます。

- ① 構造物の下端は、道路面から3メートル以上の高さとする。
- ② 車道側の支柱は、歩車道境界から25センチメートル以上離す。
- ③ 道路境界側の支柱は、工事敷地内又は仮囲内に設置する。
- ④ 構造物の下部に照明設備を取り付ける。
- ⑤ 構台部分は雨水処理のため工事敷地側へ下り勾配をつける。
- ⑥ その他
オーバブリッジの設置位置については、あらかじめ土木事務所と打ち合わせること。

ロングリフト(エレベーター)

- ① 脚柱基礎は、道路に埋め込まない。
- ② 資材の積み降ろしは、工事敷地側から行う。

乗入れ構台(棧橋)

工事敷地内に設ける構台と道路の接続部分は、工事敷地内に納め、道路には出さない。

3. 添付図書一覧表

申請書には、次の図書を添付してください。

○ 添付必要

△ 必要に応じて添付必要

| 添付図書 | | 工事仕様書 | 付近見取図 | 全体平面図 | 立面図 | 構造図 | 求積図 | 保安対策図 | 現況写真 | 前回許可書の写し | 前回工事仕様書の写し | 掘削図 | 土留計算書 | 残土 | 運搬経路図 | 備考 | | |
|-----------|------|----------------|-------|---------|---------|---------|-----|-------|------|----------|------------|-----|---------|----|---------|----|--|---------------------|
| 区分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 新規申請 | 仮囲足場 | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | ロングリフト（エレベーター）を設ける場合は、脚柱基礎詳細図も添付 | |
| | 保護棚 | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | |
| | 乗入れ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | |
| | その他 | ゴンドラ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | ゴンドラ取付詳細図・検査証の写しも添付 |
| | | オーバーブリッジ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | |
| 更新申請 | | | ○ | ○ | | | | | | ○ | ○ | | | | | | | |
| 変更申請 | | | ○ | ○ 注1 | △ 注2 | △ 注2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ 注3 | | | | | | 注1) 着色などにより変更の前後が対照できるようにする 注2) 変更がある物件について、新規申請の例により必要図書を添付 注3) 変更事項を訂正又は追記する | |
| 掘削工事を伴う場合 | | 仕様書該当欄に必要事項を記入 | | | | | | | | | | ○ | △ 注4 | | △ 注5 | | 注4) 原則として掘削深2メートル以上の場合に添付 注5) 工事敷地外に搬出する土砂が500立方メートル以上の場合に添付 | |

※ 乗入れを設置する場合等には「地下埋設物調査表」が、街路樹の撤去・新植等が必要な場合には「街路樹工事明細書」が必要となります。また、その他の参考となる図書（理由書等）を必要に応じて指示する場合があります。

4. 申請図書作成要領

(1) 申請書

① 新規申請

| 工 事 用 施 設 | | | | | | |
|---|--|--|--------------------------------|---|----|----------------------------|
| 道路占有 許可申請 書 協 議 | | <table border="1"> <tr> <td style="text-align: center;">新規</td> <td style="text-align: center;">更新</td> <td style="text-align: center;">変更</td> </tr> </table> | 新規 | 更新 | 変更 | 第 年 月 日 令和 2 年 10 月 3 日 |
| 新規 | 更新 | 変更 | | | | |
| (あて先) 名古屋市 千種 土木事務所長 〒 460-0001 | | | | | | |
| ① 住 所 名古屋市中区三の丸三丁目1-1 (フリガナ) ナゴヤケンセツ 氏 名 名古屋建設株式会社 代表取締役 名古屋 一郎 TEL 961-1111 担当者 愛知 二郎 TEL 972-2849 | | | | | | |
| ② 道路法 第32条 第35条 の規定により 許可を申請 します。 協 議 | | | | | | |
| 占 用 の 目 的 | (仮称) 丸八ビル新築工事のため | | | | | |
| 占 用 の 場 所 | 路線名 | 国道・ 県道 ・市道名古屋長久手線 | 車道・ 歩道 ・その他 | | | |
| | 場所 | 名古屋市千種区 桜ヶ丘16番地先 | | | | |
| ④ 占 用 物 件 | 名 称 | 規 模 | 数 量 | | | |
| | 工 事 用 施 設 | 仮 囲 乗 入 れ | 20.15㎡ 10.15㎡ (うち仮囲い内5.15㎡) | | | |
| ⑤ 占 用 の 期 間 | 令和 2 年 11 月 1 日 から | 間 | 占 用 物 件 の 構 造 | | | |
| | 令和 3 年 3 月 31 日 まで | | | 申請書添付図書のとおり | | |
| 工 事 の 期 間 | 令和 2 年 11 月 1 日 から | 間 | 工 事 実 施 の 方 法 | | | |
| | 令和 3 年 3 月 31 日 まで | | | <input checked="" type="checkbox"/> 直 営 <input type="checkbox"/> 請 負 <input type="checkbox"/> 管理者委託 | | |
| 道 路 の 復 旧 方 法 | <input checked="" type="checkbox"/> 占有者復旧 <input type="checkbox"/> 管理者復旧 <input type="checkbox"/> 舗装先行 | 添 付 書 類 | 別添のとおり | | | |
| 備 考 | | | | | | |

記入にあたっては、次の点に留意してください。

① 申請者

- ・ 「氏名」は、法人の場合、その名称及び代表者の氏名を記載してください。
- ・ 「担当者」は、申請事項に関し事務連絡のできる方の氏名を記載してください。

② 占用の目的

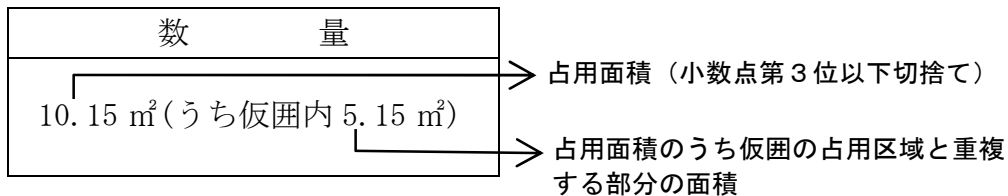
- ・ 建設工事などの内容がわかるように具体的に記載してください。

③ 占用の場所

- ・ 「路線名」は、所轄土木事務所に備付けの「名古屋市道路認定図」、または名古屋市道路認定図ウェブサイト (<http://www.douroninteizu.city.nagoya.jp/>) で確認のうえ記入してください。

④ 占用物件

- ・ 「規模」は、仮囲・保護柵・乗入れなどの占用物件のうち、該当するものを記入してください。
- ・ 乗入れ、保護柵などが仮囲の占用区域と重複する場合は、数量欄に、次のように記入してください。



- ・ 乗入れは、設置箇所ごとに占用面積を記入してください。

※ 各占用物件ごとに占用期間を分けて申請する場合又は占用物件が多く該当箇所に記入できない場合は、占用物件数量表を別に作成してください。
(作成例：11～13ページ参照)

⑤ 占用期間

- ・ 占用期間の始期は、工事着手予定日を記入してください。
許可後直ちに工事着手する場合は、空欄にしてお持ちください。

② 更新・変更申請

①

工事用施設

| | | | | | |
|---|--|---|----|---|---|
| <p>道路占用 許可申請 協議書</p> <p>(あて先) 名古屋市 千種 土木事務所長 〒460-0001</p> | | 新規 | 更新 | 変更 | 2指令土千 第 23-51 号 令和 2 年 10 月 17 日 |
| | | 令和 3 年 3 月 1 日 | | | |
| | | <p>住所 名古屋市中区三の丸三丁目1-1</p> <p>(フリガナ) ナゴヤケンセツ</p> <p>氏名 名古屋建設株式会社 代表取締役 名古屋 一郎</p> <p>TEL 961-1111 担当者 愛知 二郎 TEL 972-2849</p> | | | |
| <p>道路法 第32条 第35条 の規定により 許可を申請 協議 します。</p> | | | | | |
| 占用の目的 | (仮称) 丸八ビル新築工事のため (仮囲増) | | | | |
| ② 占用の場所 | 路線名 | 国道・ 県道 ・市道名古屋長久手線 | | | 車道・ 歩道 ・その他 |
| | 場所 | 名古屋市千種区桜ヶ丘16番地先 | | | |
| ③ 占有物件 | 名称 | 規 | 模 | 数 量 | |
| | 工事用施設 | 仮囲乗入れ | | (20.15㎡) 30.15㎡ 10.15㎡ (うち仮囲内5.15㎡) | |
| ④ 占用の期間 | (令和 2年 11月 1日) | | 間 | 占有物件の構造 | 申請書添付図書のとおり |
| | 令和 3年 4月 1日から | | | | |
| 工事の期間 | (令和 2年 11月 1日) | | 間 | 工事实施の方法 | <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 請負 <input type="checkbox"/> 管理者委託 |
| | 令和 3年 4月 1日から | | | | |
| 道路の復旧方法 | <input checked="" type="checkbox"/> 占有者復旧 <input type="checkbox"/> 管理者復旧 <input type="checkbox"/> 舗装先行 | | 間 | 添付書類 | 別添のとおり |
| | | | | | |
| 備考 | | | | | |

記入にあたっては、次の点に留意してください。

① 変更を○で囲んでください。

- ・ 前回許可の番号及び年月日を記入してください。
- ・ 前回許可書の写しを添付してください。
変更が複数回ある場合は、すべての写しを添付してください。

② 占用の目的

- ・ 前回と同じ目的を記入してください。
- ・ 今回の変更事項を（ ）書きで簡潔に記入してください。

③ 占用物件

- ・ 占用物件が少なく、該当箇所に記入できる場合は、次のように記入してください。

| 数 | 量 | |
|-------------------------|---|-------------------|
| (20.15 m ²) | | → 変更前の数量を（ ）書きで記入 |
| 30.15 m ² | | → 変更後の数量を記入 |

※ 各占用物件ごとに占用期間を分けて申請する場合又は占用物件が多く該当箇所に記入できない場合は、占用物件数量表を別に作成してください。
(作成例：11～13ページ)

④ 占用の期間

- ・ 上段に変更前を（ ）書きにし、下段に変更後を記入してください。

その他の欄については新規申請（7～8ページ参照）と同様に記入してください。

③ その他（占用物件数量表作成例）

占用期間を分けて申請する場合や占用物件が多く、該当箇所に記入できない場合は、次ページ以降のように占用物件数量表を作成してください。

なお、申請書の規模・数量欄及び占用の期間欄は「別紙のとおり」と記入してください。

- ・ 用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とします。
- ・ 用紙の左肩に、「（別 紙）」と記入します。
- ・ 「数量」は、小数第 2 位までの占用面積を記入します。
(小数第 3 位以下切り捨て)
- ・ 乗入れは、設置箇所ごとに占用面積・占用の期間を記入します。

□新規申請

(別紙)

占用物件数量表

| 工 事 用 施 設 | 数 量 | 占 用 の 期 間 |
|-----------|-------------------------|-----------------------|
| 仮 囲 | m ² 20.55 | 令和 2.11.1 ~ 3.6.30 |
| 保 護 柵 | 30.00 | 2.1.10 ~ 3.6.30 |
| 乗 入 れ | 15.00 | 2.11.1 ~ 3.6.30 |
| 乗 入 れ | 10.55 (うち仮囲内5.55) | 2.11.1 ~ 3.6.30 |
| | | ~ |
| | | ~ |
| | | ~ |

(日本産業規格A4)

□変更申請

(別紙)

占用物件数量表

| 工事用施設 | 変更前 | 変更後 | 占用の期間 |
|-------|-------------------------|-------------------------|--|
| 仮 囲 | m ² 10.55 | m ² 15.55 | 令和 (2.10.1 ~ 3.3.31) 2.12.1 ~ 3.3.31 |
| 保 護 棚 | 0 | 20.00 | (~) 2.12.1 ~ 3.3.31 |
| 乗 入 れ | 15.15 | 15.15 | (2.10.1 ~ 3.3.31) ~ |
| | | | (~) ~ |
| | | | (~) ~ |
| | | | (~) ~ |
| | | | (~) ~ |

(日本産業規格A4)

(注) 「占用の期間」は上段の () 書きに変更前を、下段に変更後を記入する。

※記入例は、仮囲の増設と保護棚の追加の場合

(2) 添付図書

① 工事仕様書

| 工 事 仕 様 書 (工事用施設) | | | | | | |
|--|--|--|---|--------------|----------|--------|
| 工 事 概 要 | 建築物等の名称 (仮称) 丸八ビル新築工事 (地上 6 階・地下 1 階) | | | | | |
| | 新築・改築・補修・塗装・その他() 工事 | | | | | |
| 現 場 責 任 者 | 所属氏名 工事課 愛 知 二 郎 | | | TEL 972-2849 | | |
| 仮 囲 足 場 | 出 幅 | 有効幅員 | 歩道幅員 | 車道幅員 | 交通規制 | |
| | 東 側 | 0.8 m | 2.2 m | 4.0 m | m | |
| | 西 側 | | | | | |
| | 南 側 | 0.5 | 4.5 | 6.5 | | |
| | 北 側 | | | | | |
| | 仮 囲 高 | 路面から | 3.0 m | 足 場 高 | 路面から | 18.0 m |
| 保 護 棚 | 出 幅 | 足場から | 2.0 m | 段 数 | 1 段 | |
| | 1 段目取付け位置 路面から 5.0 m | | | | | |
| 乗 入 れ | <input checked="" type="checkbox"/> 歩道補強 () <input type="checkbox"/> 側溝補強 | | | | | |
| | <input type="checkbox"/> 鉄板敷 厚さ mm (敷地内固定方法 アンカーボルト・溶接・その他) | | | | | |
| | <input checked="" type="checkbox"/> セメントコンクリート打換え 厚さ 20 cm | | | | | |
| | <input type="checkbox"/> 既設乗入れをそのまま使用 | | | | | |
| | 乗 入 れ 幅 | 4.0 m | | 筒 所 数 | 1 箇所 | |
| 掘 | 掘 削 の 深 さ | 路 面 か ら | | 最大 4.0 m | 最小 2.0 m | |
| | 掘 削 位 置 | 道路境界から 0.5 m | | | | |
| | 発 生 土 砂 | 発生土砂量 800 m ³ (うち 200 m ³ 敷地外搬出) | | | | |
| | 土 留 の 有 無 | <input checked="" type="checkbox"/> 有・無 | | | | |
| 削 | <input checked="" type="checkbox"/> 親 杭 | 親 杭 | 形状・寸法 H鋼 300 × 300 mm | | | |
| | | | 杭 長 | 7.0 m | 杭 間 | 1.0 m |
| | <input type="checkbox"/> 横 矢 板 | 横 矢 板 | 厚 さ 30 mm | | | |
| | | 切 梁 | <input checked="" type="checkbox"/> 有・無 | | 1 段 | |
| <input type="checkbox"/> 鋼 矢 板 <input type="checkbox"/> 地中連続壁 <input type="checkbox"/> そ の 他 () | | | | | | |
| 備 考 | 東側歩道は、通学路のため〇〇小学校と打ち合わせ済み | | | | | |
| | | | | | | |

(日本産業規格 A 4)

- (注) 1 「有効幅員」とは、仮囲設置後、歩行者又は車両が実際に通行できる部分の幅員をいいます。
- 2 「歩道補強」の () 内には、カラー舗装されている場合に、その旨記入します。

※ 用紙の裏面は、次ページの地下埋設物調査表になっています。

□工事仕様書裏面

※ 乗入れ又は土留がある場合は、次表により地下埋設物管理者と打ち合わせてください。

| 地下埋設物調査票 | | | | | | | | | |
|----------|------------------------------|----------------------|--------------------|------------|--------|---|----|--|--|
| | 道路境界からの距離 | 深さ | 規模 | 地下埋設物管理者意見 | | 打合せ年月日及び担当者 | 備考 | | |
| | | | | 乗入れについて | 土留について | | | | |
| 水道 | 東側西端境界から1.2m 南側北端境界から1.2m | 1.2m 1.2m | φ 150mm φ 150mm | 支障なし | 事前立会い要 | 東部管路センター 担当者 (R2.9.26) | | | |
| | | | | 支障なし | 支障なし | | | | |
| 下水道 | 東側西端境界から2.2m 南側北端境界から3.0m | 1.7~2.2m 1.6~2.3m | φ 400mm φ 450mm | 支障なし | 支障なし | 東部管路センター 担当者 (R2.9.26) | | | |
| | | | | 支障なし | 支障なし | | | | |
| ガス | 東側西端境界から0.8m | 0.9m | φ 100mm | 支障なし | 支障なし | 東邦瓦斯株式会社 他工事受付センター 担当者 (R2.9.26) | | | |
| | | | | 支障なし | 支障なし | | | | |
| 電力ケーブル | 東側西端境界から0.8m | 0.8m | φ 50mm | 支障なし | 支障なし | 中営業所 担当者 (R2.9.26) | | | |
| | | | | 支障なし | 支障なし | | | | |
| 送電 | なし | | | 支障なし | 支障なし | | | | |
| 電話ケーブル | なし | | | 支障なし | 支障なし | | | | |

(日本産業規格 A 4 ・ 横長)

② 付近見取図

※ 図面の大きさは、日本産業規格A4以上としてください。

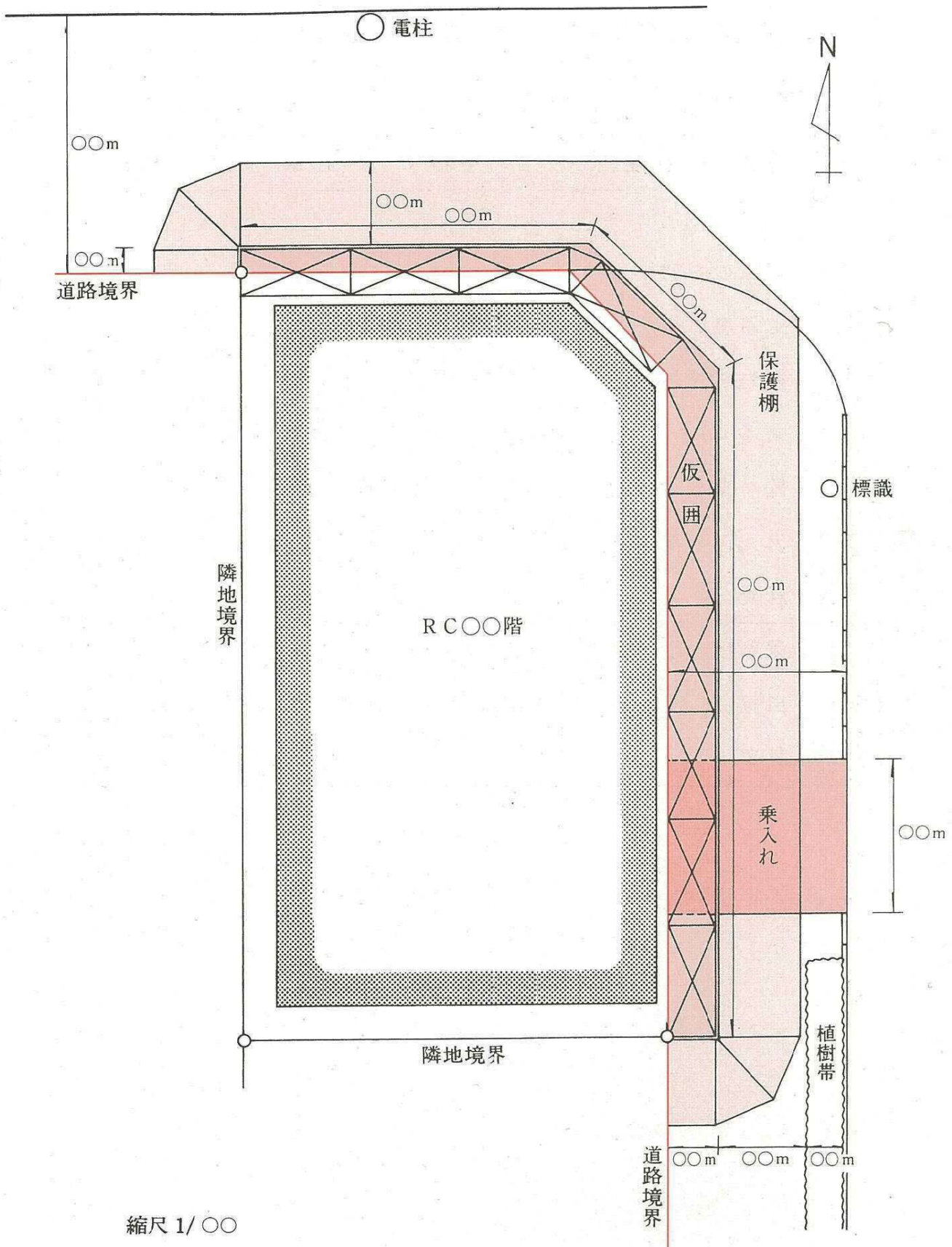
| 主な明示事項 | 留意事項 |
|--|-------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 申請地 ・ 方位 ・ 目標となる施設 | <p>工事敷地を明示</p> <p>学校、公園などの位置を記入</p> |



③ 全体平面図

占用物件の配置、道路の現況などを示した図面

| | 主な明示事項 | 留意事項 |
|-------|---|---|
| 共通事項 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 申請物件 ・ 縮尺 ・ 方位 ・ 道路境界線 ・ 道路幅員 ・ 隣地境界線 ・ 道路施設 ・ 既設乗入れ ・ 他の占用物件 | <p>申請物件ごとに薄く色分け</p> <p>赤色で明示</p> <p>車道・歩道別に記入</p> <p>街路樹、道路標識、街路灯、防護柵、視覚障害者誘導用ブロックなどを記入</p> <p>電柱、電話ボックス、消火栓などを記入</p> |
| 仮囲・足場 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 出幅 ・ 有効幅員 ・ 延長 ・ 出入口 ・ 足場の配置 | 2 m 以内で必要最小限 |
| 保護柵 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 出幅 ・ 延長 | 2 m 以上 |
| 乗入れ | <ul style="list-style-type: none"> ・ 幅員 ・ 延長 | 6 m 以内で必要最小限 |

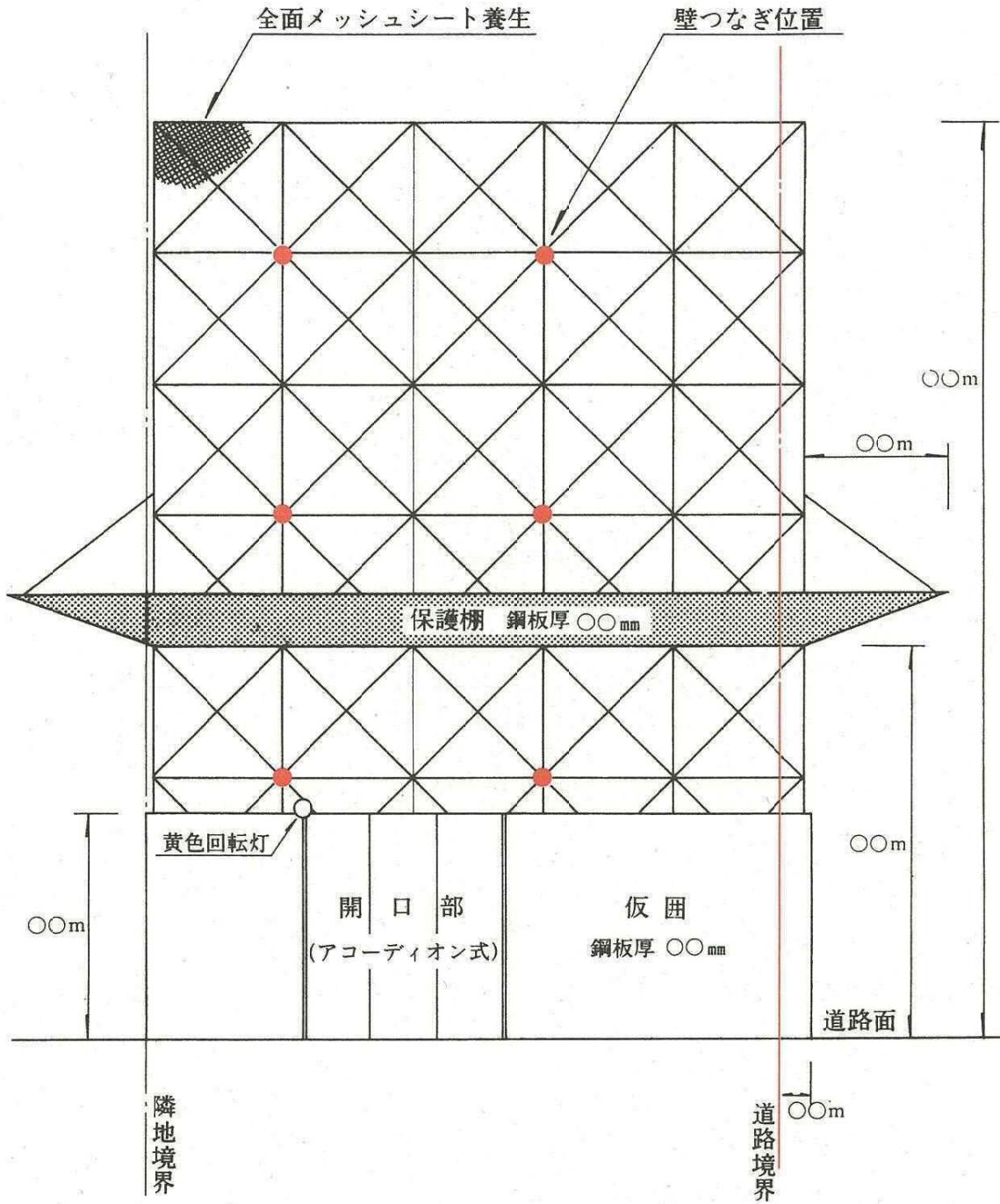


④ 立面図（正面・側面）

占有物件の設置状況を正面及び側面から示した図面

（正面図）

| 主な明示事項 | | 留意事項 |
|--------|---|---------------------------------|
| 共通事項 | <ul style="list-style-type: none"> ・縮尺 ・立面の方向 ・道路境界線 ・隣地境界線 | 赤色で明示 |
| 仮囲・足場 | <ul style="list-style-type: none"> ・高さ ・壁つなぎの位置 ・出入口の閉鎖方法 ・材質 | 仮囲は原則として3 m以上 赤色の丸印で明示 |
| 保護柵 | <ul style="list-style-type: none"> ・道路面からの高さ ・出幅 ・材質 | 歩道上3 m以上 車道上5 m以上 2 m以上 |

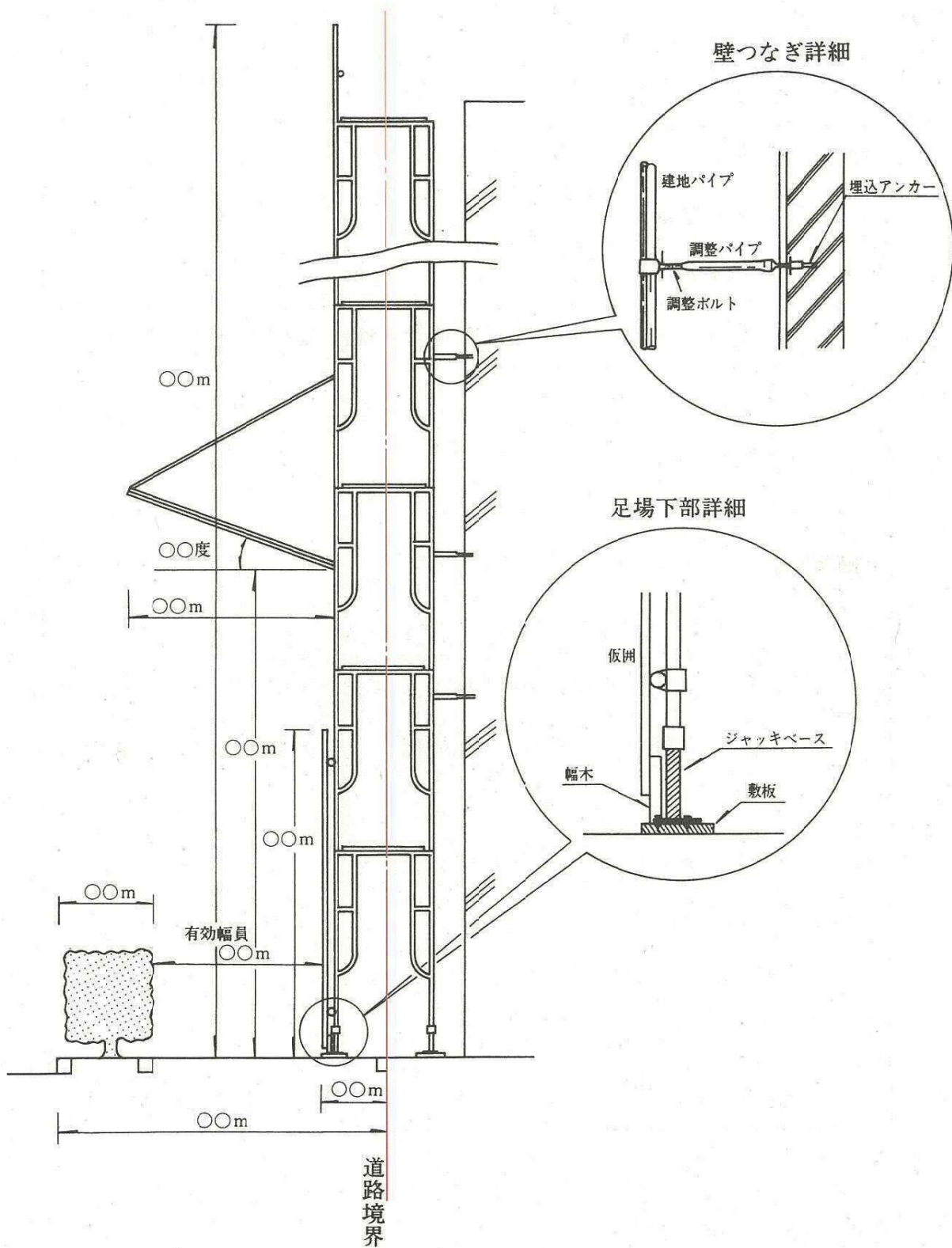


縮尺 1/〇〇

(東 ・ 西 ・ 南 ・ 北) 立面

(側 面 図)

| 主 な 明 示 事 項 | | 留 意 事 項 |
|-----------------------|---|--|
| 共 通 事 項 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 縮尺 ・ 道路境界線 ・ 道路幅員 ・ 道路施設 ・ 他の占用物件 | <p>赤色で明示</p> <p>街路樹、道路標識、街路灯などを記入</p> <p>電柱、電話ボックスなどを記入</p> |
| 仮 囲 ・ 足 場 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 出幅 ・ 有効幅員 ・ 高さ ・ 足場下部詳細 ・ 壁つなぎ詳細 | <p>2 m 以内で必要最小限</p> <p>仮囲は原則として 3 m 以上</p> <p>縮尺の関係で詳細が図示できない場合は 拡大図を併記</p> <p>同 上</p> |
| 保 護 棚 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 出幅 ・ 道路面からの高さ ・ 取付角度 | <p>2 m 以上</p> <p>歩道 3 m 以上 車道 5 m 以上</p> |



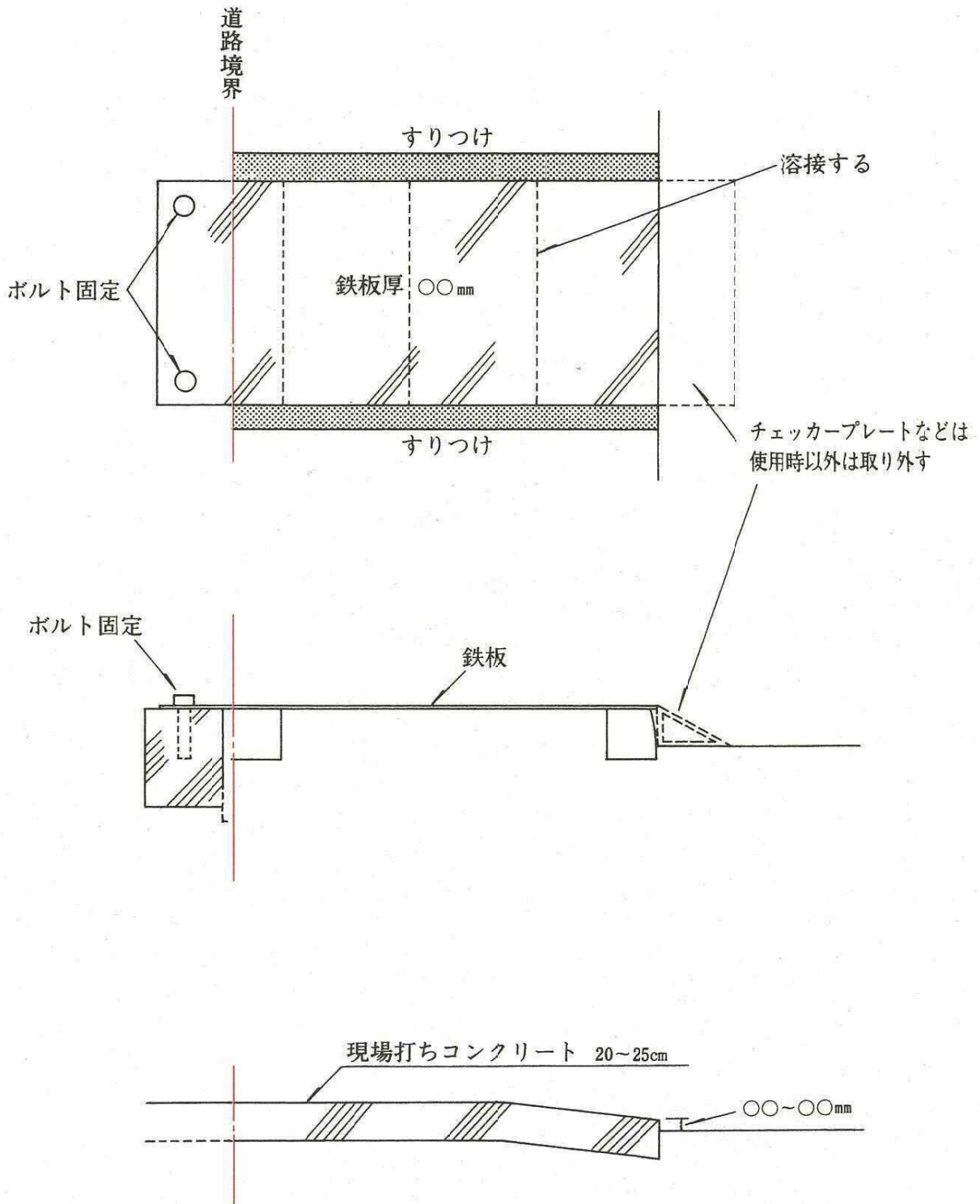
⑤ 構造図(平面・断面)

乗入れ又はオーバブリッジの場合に必要

| 主な明示事項 | | 留意事項 |
|---------|--|--|
| 共通事項 | <ul style="list-style-type: none"> ・縮尺 ・道路境界線 ・道路幅員 | |
| 乗入れ | <ul style="list-style-type: none"> ・幅員 ・延長 ・鉄板の規格 ・鉄板固定方法 ・すりつけ ・コンクリート厚 | <p>6 mを超える場合は車両回転軌跡図が必要</p> <p>20 ~ 25 cm</p> |
| オーバブリッジ | <ul style="list-style-type: none"> ・道路面からの高さ ・仮囲の位置 ・有効幅員 ・歩車道境界からの距離 ・支柱基礎 ・照明施設 ・屋根の排水方向 ・設置物件 | <p>構造物の下端まで3 m以上</p> <p>道路境界側の支柱は敷地内又は仮囲内に設置</p> <p>25 cm以上離す。</p> <p>矢印で表示</p> <p>オーバブリッジ上に設ける物件を図示</p> |

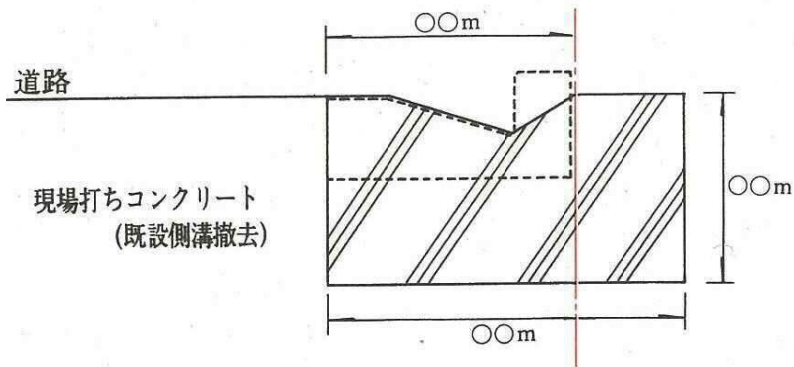
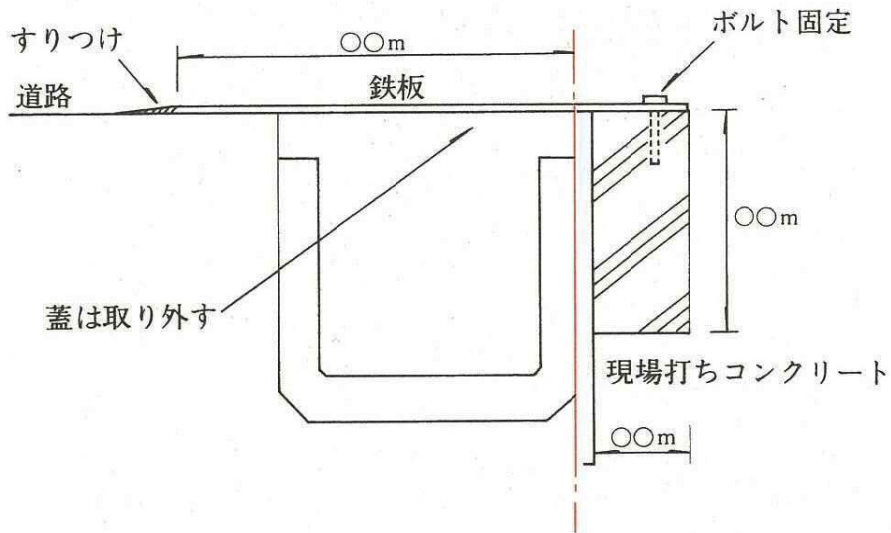
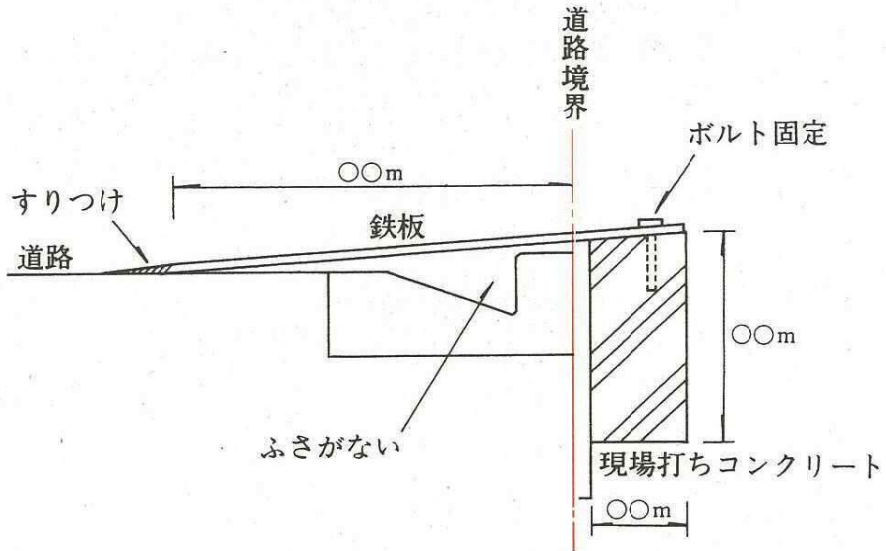
〈 乗 入 れ 〉

歩 道 補 強



縮尺 1/〇〇

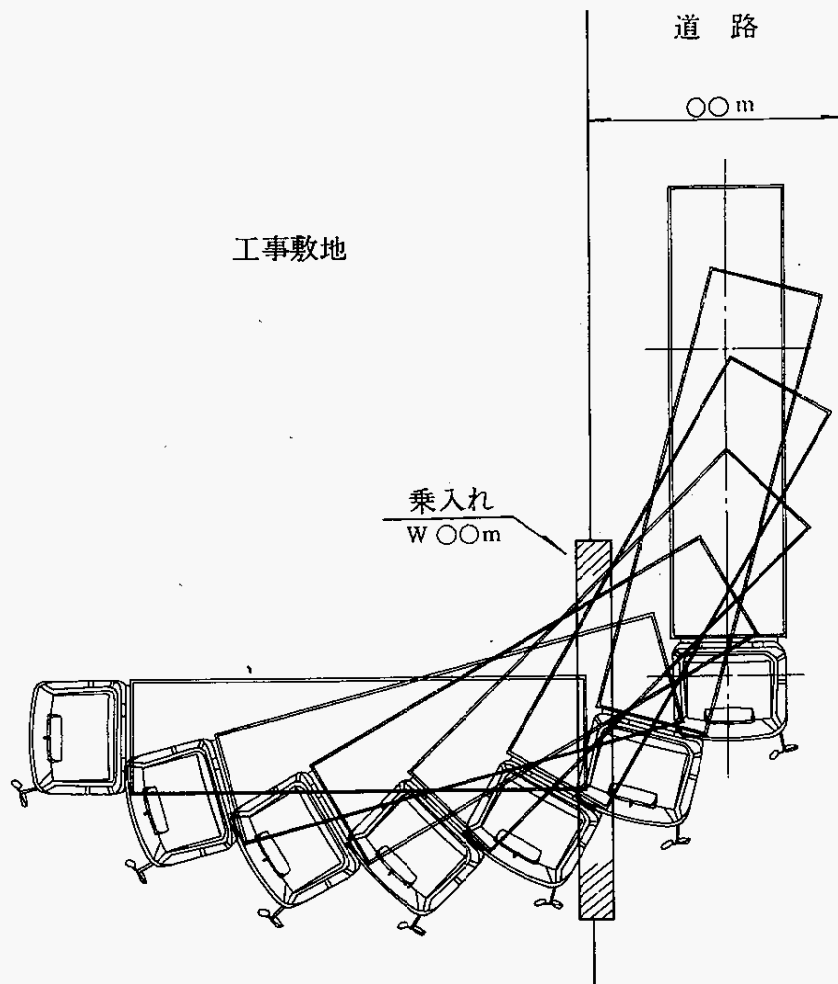
側溝補強



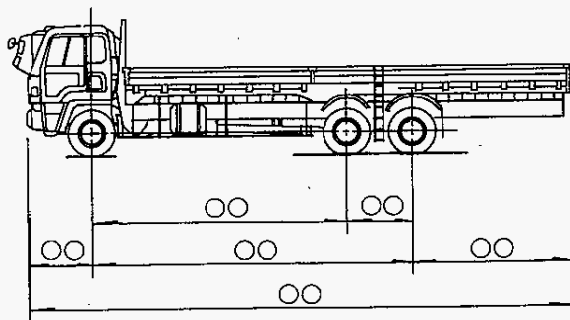
縮尺 1/〇〇

〈 車両回転軌跡図 〉

乗入れ幅が6メートルを超える場合に提出すること。

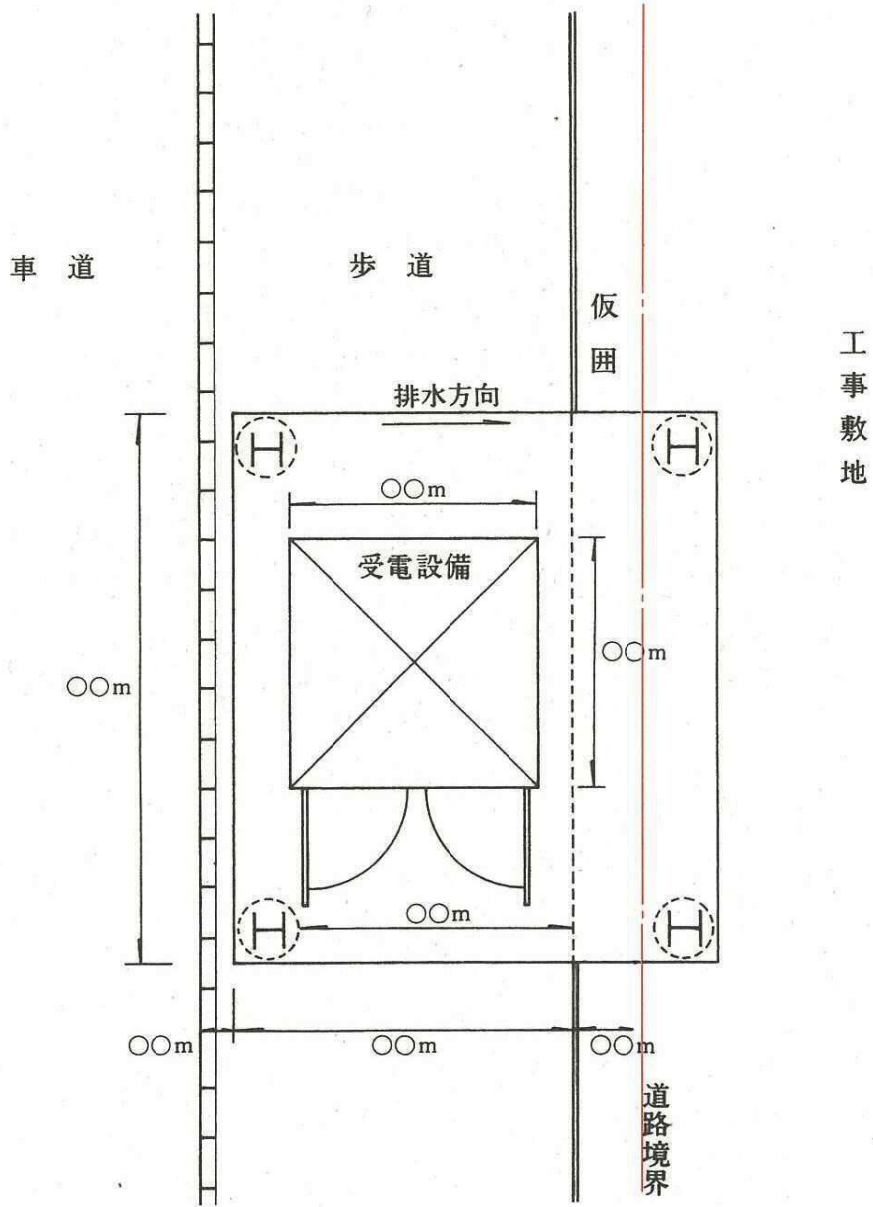


縮尺 1/○○

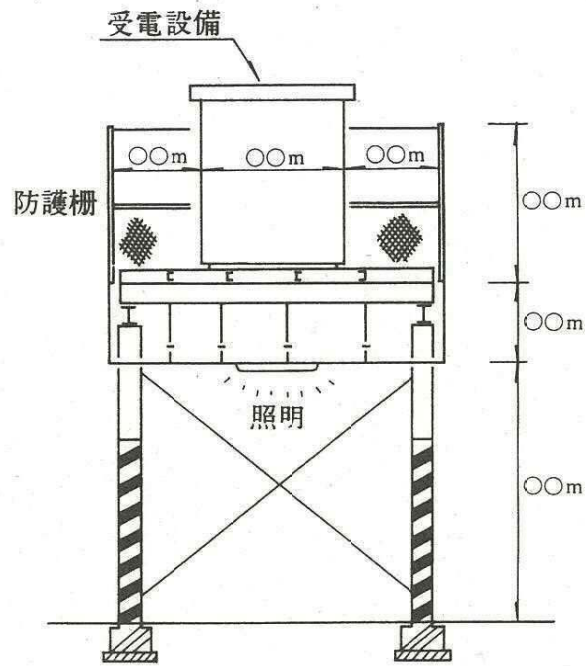


| 車両諸元 | |
|----------|--|
| 単位：mm | |
| 車種： | |
| 全長： | |
| 全幅： | |
| ホイールベース： | |
| 最小回転半径： | |

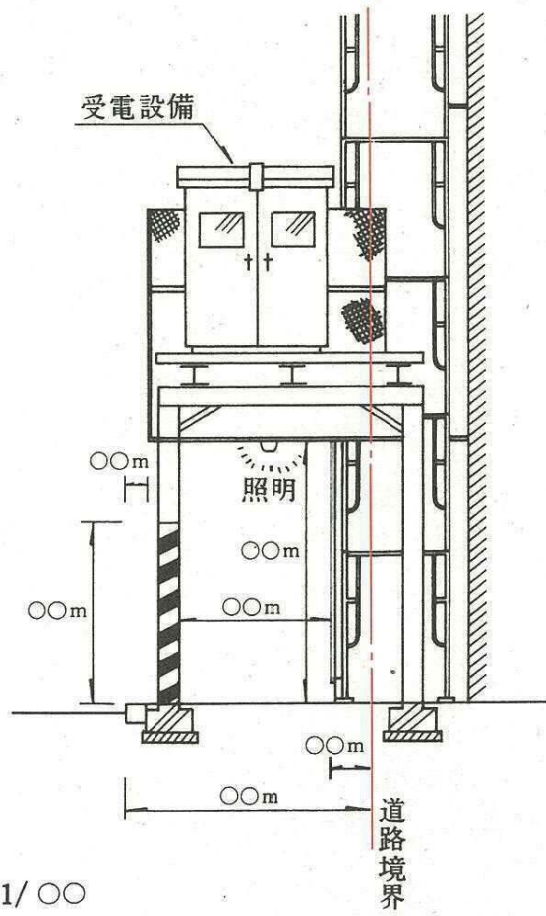
〈オーバブリッジ〉



縮尺 1/〇〇



縮尺 1/〇〇

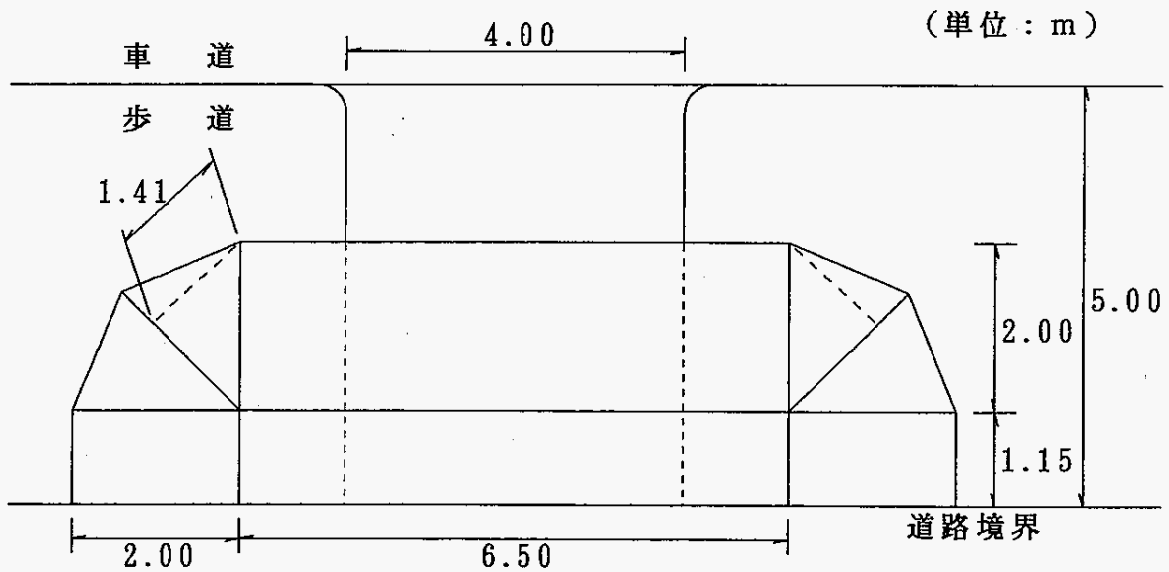


縮尺 1/〇〇

⑥ 求 積 図

※ 全体平面図と兼ねることができます。

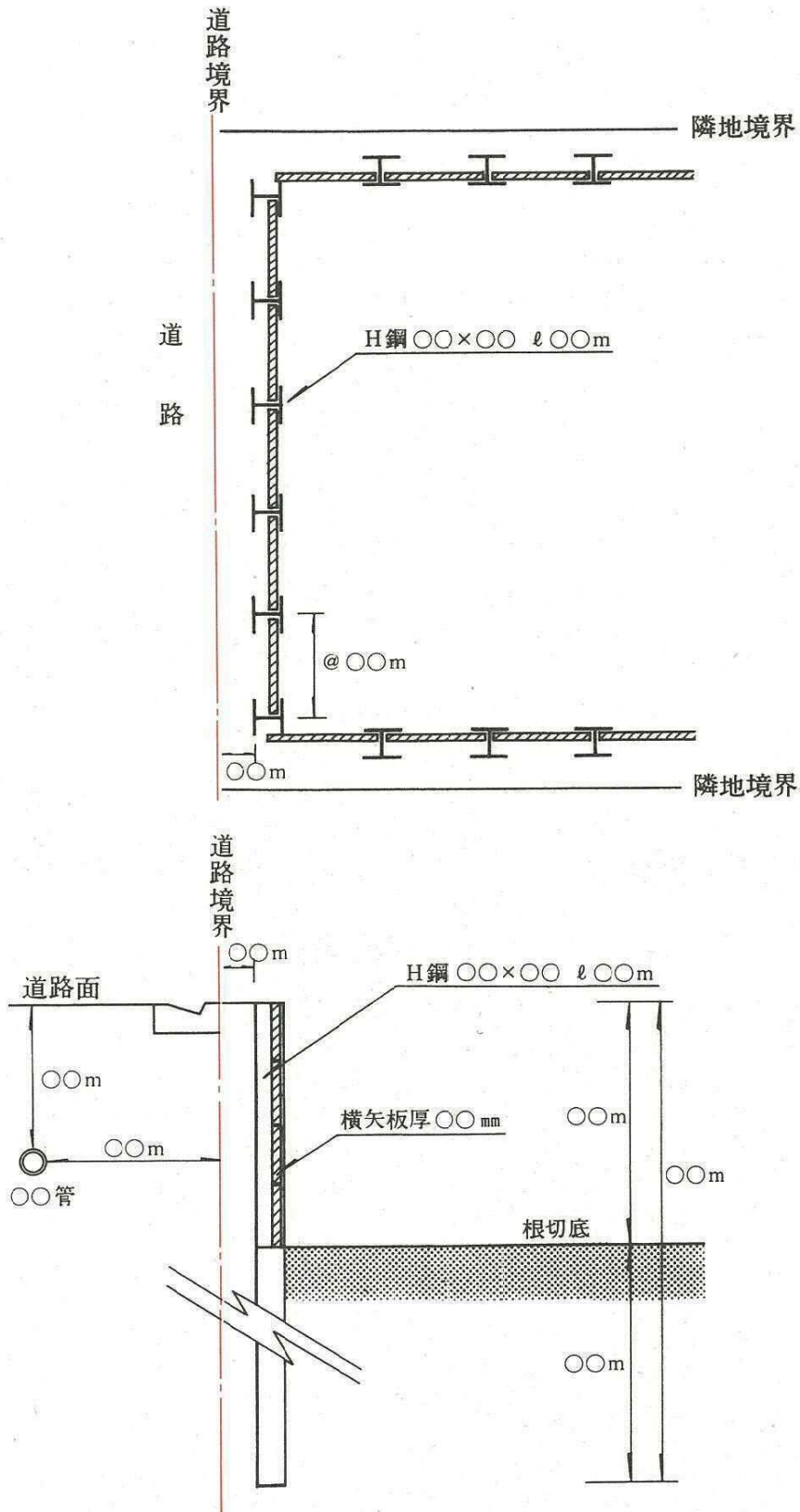
| 主 な 明 示 事 項 | 留 意 事 項 |
|---|-----------|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 計算の基礎となる数値 ・ 計算式 | 小数第2位まで表示 |



| | |
|-------|--|
| 仮 囲 | $6.50 \times 1.15 = 7.475 \dots\dots\dots 7.47 \text{ m}^2$ |
| 保護柵 | $6.50 \times 2.00 + 1.15 \times 2.00 \times 2$ $+ 1.41 \times 2.00 \div 2 \times 4 = 23.24 \dots\dots\dots 23.24 \text{ m}^2$ |
| 乗入れ | |
| (全体) | $5.00 \times 4.00 = 20.00 \dots\dots\dots 20.00 \text{ m}^2$ |
| (仮囲外) | $(5.00 - 1.15) \times 4.00 = 15.40 \dots\dots\dots 15.40 \text{ m}^2$ |

※ 計算後の数量は、小数第3位以下を切り捨て、小数第2位まで表示します。

⑦ 掘削図（平面・断面）



縮尺 1/〇〇

※埋設管の位置を図示

⑧ その他

(1) 隣地承諾書

占用物件を隣地前面の道路上に設置する場合に必要な

<書式例>

(日本産業規格A4)

| | |
|--|----------------|
| 承 諾 書 | |
| 申請者 氏名 | |
| 私の所有（占有）する土地の前面道路上に、下記の工事に必要な工事用施設を設置することを承諾します。 | |
| 年 月 日 | |
| | 承諾者 住所 氏名 |
| 記 | |
| 1. 工事件名 | |
| 2. 工事場所 | 名古屋市 区 町 丁目 番地 |
| 3. その他 | |

(2) 商店街承諾書

占用物件の設置がアーケードなどの支障となる場合に必要な

<書式例>

(日本産業規格A4)

| | |
|---|----------------|
| | 年 月 日 |
| 〇〇〇商店街振興組合 | |
| 理事長 様 | |
| | 申請者 氏名 |
| 貴商店街のアーケードが設置されている箇所に、下記の工事に必要な工事用施設を設置したいので、ご承諾くださるようお願いいたします。 | |
| 記 | |
| 1. 工事件名 | |
| 2. 工事場所 | 名古屋市 区 町 丁目 番地 |
| 3. その他 | |
| 承 諾 書 | |
| | 年 月 日 |
| 上記のことについては承諾します。 | |
| | 承諾者 住所 氏名 |

5. 許可後の手続

占用料の納入

- ・ 許可書とともに交付される道路占用料納入通知書により、必ず納期限までに納入してください。

占用許可の表示

- ・ 道路占用許可標識を作成し、占用期間中、仮囲など見やすい場所に掲出してください。（33ページ参照）

工事完了届の提出

- ・ 工事が完了したときは、速やかに占用物件を除却し、道路を現状に回復してください。
- ・ 工事完了届（及び検査調書）に必要事項を記入のうえ、所轄土木事務所に提出してください。（35～36ページ参照）
 - ※ 届出用紙は、許可書とともに交付
 - ※ 占用物件の撤去前、撤去後の現況写真を必ず添付すること。

※工事着手届については、必要に応じて届出を求める場合があります。

〔工事中の注意〕

工事中は、住民への危害及び迷惑を防止するとともに、道路の構造を保全し、交通の安全と円滑に十分注意してください。

- 1) 工事の概要を付近住民に周知し、その理解を得ること。
- 2) 占用物件を常時良好な状態に保つように維持管理すること。
- 3) 工事用車両の出入口には、黄色回転灯を設置するとともに、車両の出入りの際は、監視員を配置し、歩行者等の安全を確保すること。
- 4) 工事現場付近の道路清掃の実施、道路側溝の通水の確保その他道路の機能保持に努めること。

《道路占用許可標識様式及び記入例》

| 道 路 占 用 許 可 標 識 | | | |
|---------------------------------|------------------------------------|---------------------------|--------|
| 占 用 者 | 住所 | 名古屋市中区三の丸三丁目 1番1号 | |
| | 氏名 | 名古屋建設株式会社 代表取締役 名古屋 一郎 | |
| 許 可 番 号 | 令和2年10月17日付け19指令土千第23-51号 | | |
| 占 用 物 件 | 名 称 | 工 事 用 施 設 | |
| | 規 模 | 仮 囲 | 乗 入 れ |
| | 数 量 | 20.15㎡ | 10.15㎡ |
| 占 用 の 期 間 | 令和2年11月1日から令和4年3月31日まで | | |
| 現 場 責 任 者 氏 名 | 名古屋建設株式会社 工事課 愛知二郎 TEL 972-2849 | | |
| 建 築 主 氏 名 | 丸八 太郎 | | |

25センチメートル以上

35センチメートル以上

工事完了届の様式は、道路占用許可書と一緒に
お渡しします。

《工事完了届記入例》

| | | | | | |
|---|---|-----|---|-----------------|--|
| <h3 style="margin: 0;">工 事 完 了 届</h3> <p style="text-align: right; margin: 5px 0;">令和 4 年 3 月 31 日</p> <p>(あて先) 名古屋市 千種 土木事務所長</p> <p style="text-align: right; margin: 5px 0;">住 所 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号</p> <p style="text-align: right; margin: 5px 0;">氏 名 名古屋建設株式会社</p> <p style="text-align: right; margin: 5px 0;">代表取締役 名古屋 一郎</p> <p style="text-align: right; margin: 5px 0;">TEL 961-1111</p> | | | | | |
| <p style="border: 1px solid red; border-radius: 50%; display: inline-block; padding: 2px;">占用工事 承認工事</p> | <p>が完了しましたので、下記のとおり届け出ます。</p> <p style="text-align: center;">記</p> | | | | |
| <p style="border: 1px solid red; border-radius: 50%; display: inline-block; padding: 2px;">許 可 承 認</p> 番 号 | <p>(令和2年10月17日付け2指令土千第23-51号)</p> <p>令和3年3月10日付け 2指令土千 第 23-121 号</p> | | | | |
| 工 事 の 名 称 | (仮称) 丸八ビル新築工事 | | | | |
| 工 事 の 期 間 | (令 和 2 年 11 月 1 日) 令和 3 年 4 月 1 日 から 令和 4 年 3 月 31 日まで | | | | |
| 工 事 の 場 所 | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">路線名</td> <td>国道 県道・市道 名古屋長久手線</td> </tr> <tr> <td colspan="2">名古屋市千種区桜が丘16番地先</td> </tr> </table> | 路線名 | 国道 県道 ・市道 名古屋長久手線 | 名古屋市千種区桜が丘16番地先 | |
| 路線名 | 国道 県道 ・市道 名古屋長久手線 | | | | |
| 名古屋市千種区桜が丘16番地先 | | | | | |
| 工 事 完 了 年 月 日 | 令和 4 年 3 月 31 日 | | | | |
| 施 工 業 者 | <p>住 所 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号</p> <p>氏 名 名古屋建設株式会社</p> <p style="text-align: center;">代表取締役 名古屋 一郎</p> <hr/> <p>現場責任者 工事課 愛知 二郎 TEL 972-2849</p> | | | | |

| 復 旧 工 事 内 容 | | | |
|-------------------|-----------|-----|-----|
| 工 種 | 復 旧 面 積 等 | 単 位 | 記 事 |
| ※この欄は、記入しないでください。 | | | |
| | | | |
| | | | |

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

※ 占用物件の撤去前と撤去後の現況写真を添付してください。

検査調書の様式は、道路占用許可書と一緒に
お渡しします。

《検査調書記入例》

| | |
|--------------------------------|--------------------|
| 検 査 調 書 | |
| 年 月 日 | |
| 名古屋市長 様 | |
| 検査員(所 属) (補職氏名) | |
| 占有工事 承認工事 について、次のとおり検査しました。 | |
| 工 事 の 内 容 | 別紙工事完了届のとおり |
| 検 査 年 月 日 | 年 月 日 |
| 検 査 結 果 | 合格・不合格・その他() |
| 立会者所属氏名 | 名古屋建設(株) 工事課 愛知 二郎 |
| 特 記 事 項 | |

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A5とする。

※ 工事完了届に添えて提出してください。